

排水管更生工事に新技術!

「リノベライナー工法」誕生

いずみテクノスが積水化学工業と共同開発

「工事は1日で終了・引き渡し」

「更新工事に比べ経済的」(更新工事の5%)

「優れた耐久性」

マンション等の地下埋設して「リノベライナー工法」の排水横主管の更生工事のデモ施工が行われた。当日は、まず積水化学の「リノベライナー工法」が、東京、中間太(本社・東洋、中間太(積水化学工業)が、積水化学工業と共同開発した「リノベライナー工法」である。マンションの排水横主管は、ただ円状に折られたんだ形状記憶性を持つ硬質塩化ビニル管を挿入し、蒸気と圧縮空気で円形に復元、管内に密着させる技術だ。

技術研究所松本部長が工法概要を説明し、次いで実験場で、マンションの地下埋設して穴開きが設けられていた。モテル配管に、腐蝕を

設の排水管を想定した「口径100A、90度曲り2か所、45度曲り4か所、長さ10メートル」のモデル配管に、形状記憶塩ビ管が挿入され、管内密着に見事に成功した。

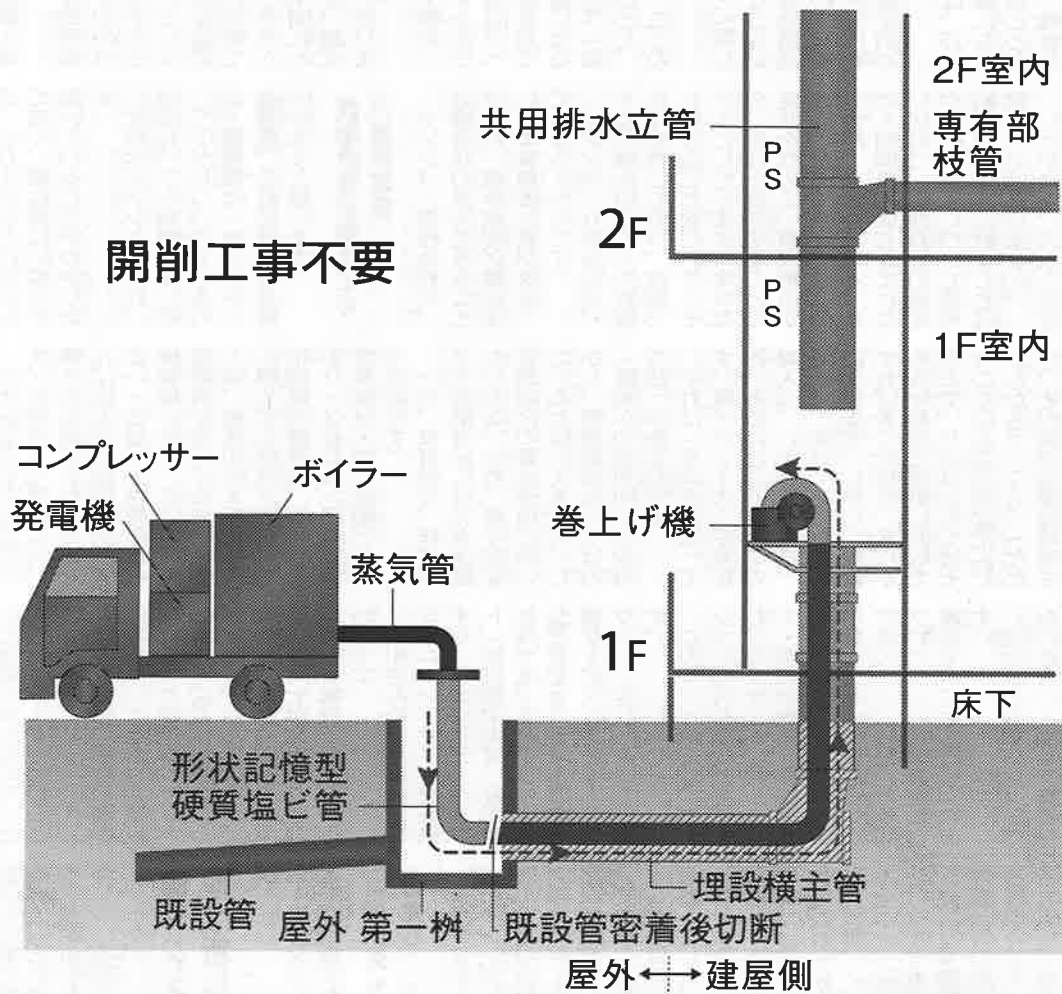
90度の曲り部でも、しわが発生せずに再生されていた。モデル配管に、腐蝕を

したが、管内に新たに硬質塩化ビニル管が密着したことで、経年劣化で穴あきがあったも更生可能なが実証された。

排水横主管は、マンションの1階階下に位置しているため、これまで更新するために、横主管に沿って開削を施す必要があった。その点「リノベライナー工法」は、マンション内の廊下や、敷地内の地面を掘り返す開削工事が不要なので、短工期、コスト削減、そして強度、耐久性に優れた技術として、今後の主流工法としての発展が期待される。

住宅設備機器総合商社(株)小泉のグループ企業であるいずみテクノス(株)(本社・東京、中間太(積水化学工業)が、積水化学工業と共同開発した「リノベライナー工法」である。マンションの排水横主管は、ただ円状に折られたんだ形状記憶性を持つ硬質塩化ビニル管を挿入し、蒸気と圧縮空気で円形に復元、管内に密着させる技術だ。

横浜市緑区にあるいずみテクノス技術センターでは、10月22、23の両日、マンション管理関係者、設備設計関係者等を招待



開削工事不要

既設管に形状記憶塩ビ管を挿入